

証券コード：6841
横河電機株式会社

2024年3月期 第2四半期 決算説明会

2023年11月7日

目次

1. 2024年3月期 第2四半期 連結決算の概要 P. 3

執行役員 経理財務本部長 中嶋 倫子

2. 決算補足資料 P. 18

四半期別実績／営業外・特別損益／受注残推移／制御ビジネス金額別受注推移
研究開発費・減価償却費・設備投資／貸借対照表／株価の状況

3. 現状認識と今後の見通し

「Accelerate Growth 2023」進捗と達成に向けて P.28

代表取締役社長 奈良 寿

2024年3月期 連結決算の概要

対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

執行役員 経理財務本部長

中嶋 倫子

2023年11月7日

■第2四半期実績：増収増益

- ・サマリー： 受注は、前年並み
売上は、生産部品およびプロジェクト調達品の調達環境の改善や値上げ施策の効果、COVID-19後に受注した大型案件の売上高への計上、為替の変動影響などにより増収
営業利益は、売上の増加に伴う粗利増などにより増益
四半期純利益は、海外子会社に係るのれん等の減損損失を特別損失に計上したものの、第1四半期連結会計期間に投資有価証券売却益を特別利益に計上したことなどにより増益
- ・セグメント別： 制御 増収増益 (除・為替影響：受注▲0.6%、売上+19.2%)
測定器 増収増益
新事業他 前年並み

■通期業績予想：修正あり

- ・修正要因 ①為替レートの見直し (1USD= 130円 ➡ 140円)
②生産部品およびプロジェクト調達品の調達環境の改善などを踏まえ、上方修正

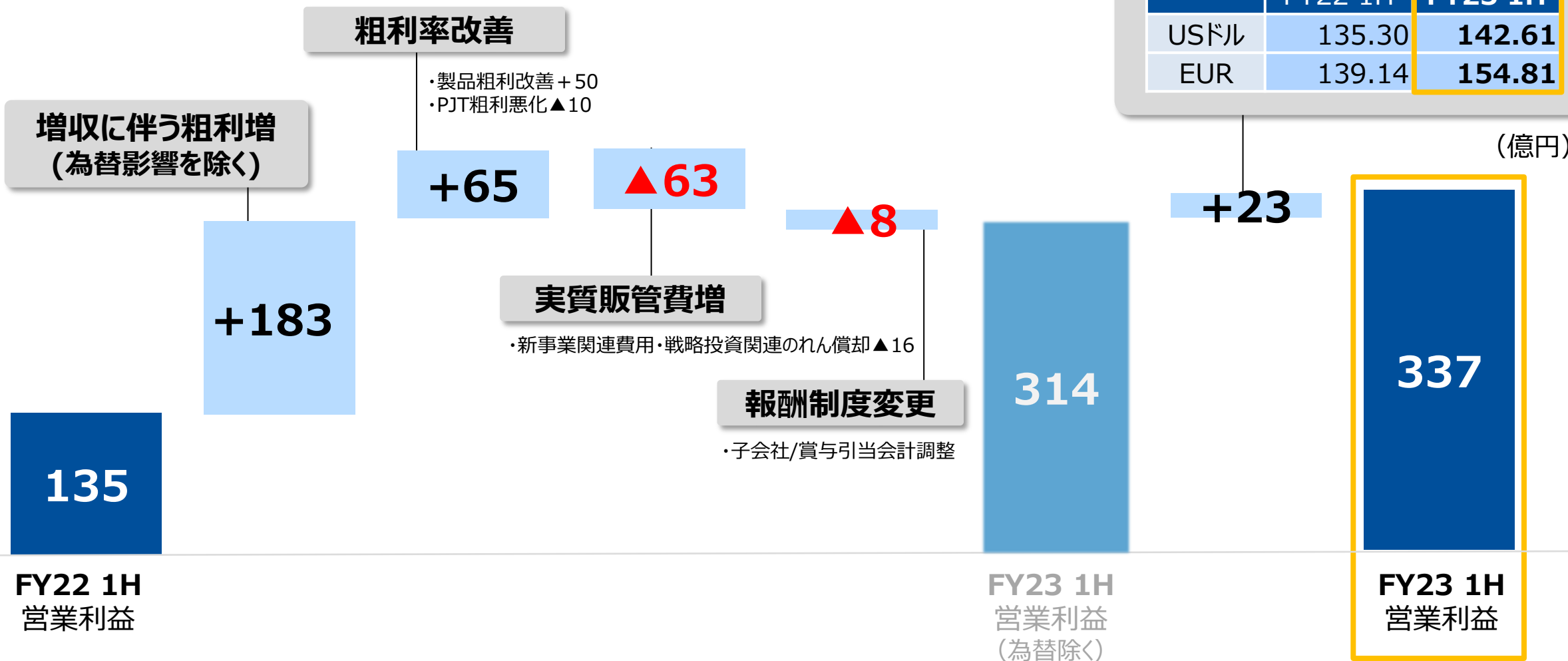
決算サマリー（前年同期比）

- ◆受注・売上 : 受注は**前年並み**（除・為替影響▲50億円、▲1.9%）
売上は生産部品およびプロジェクト調達品の調達環境の改善や値上げ施策の効果、COVID-19後に受注した大型案件の売上高への計上、為替の変動影響などにより**増収**（除・為替影響+420億、+20.4%）
- ◆営業利益 : 売上の増加に伴う粗利増などにより**増益**（除・為替影響+178億円）
- ◆四半期純利益 : 海外子会社に係るのれん等の減損損失を特別損失に計上したものの、第1四半期連結会計期間に投資有価証券売却益を特別利益に計上したことなどにより**増益**（除・為替影響+232億円）

	FY22_1H	FY23_1H	差異	増減率	為替影響	(億円)
受注高	2,643	2,661	+18	+0.7%	+68	
売上高	2,059	2,545	+486	+23.6%	+66	
営業利益	135	337	+202	+149.0%	+23	
ROS(%)	6.6	13.2	+6.7pt	—	—	
経常利益	159	371	+212	+133.6%	+27	
親会社株主に帰属する四半期純利益	92	351	+258	+279.4%	+26	
為替レート	1米ドル=	142.61円	+7.31円	—	—	

営業利益分析（前年同期比）

◆ 売上の増加に伴う粗利増などにより増益

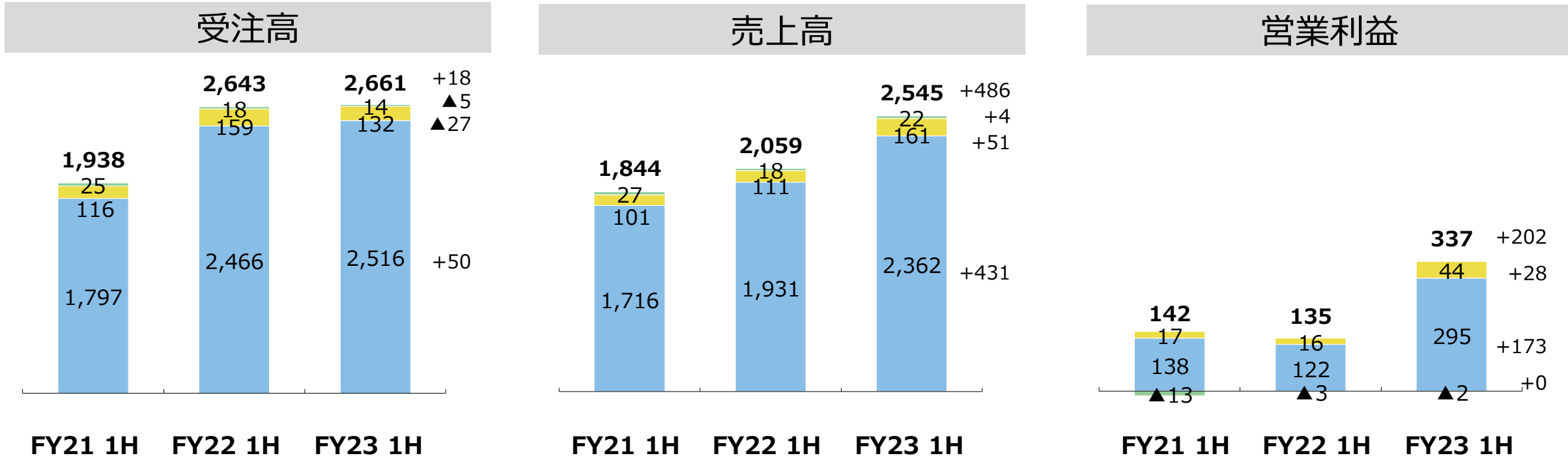


セグメント別 受注・売上・営業利益

- ◆ 制御事業 : 受注は前年並み。売上は生産部品およびプロジェクト調達品の調達環境の改善や値上げ施策の効果、COVID-19後に受注した大型案件の売上高への計上、為替の変動影響などにより増加
(除・為替影響 : 受注▲14億円 ▲0.6%、売上+371億円 +19.2%)
営業利益は、売上の増加に伴う粗利増などにより増益 (除・為替影響 : +154億円)
- ◆ 測定器事業 : 受注は減少。売上は生産部品の調達環境の改善などにより増加。営業利益は増益
- ◆ 新事業他 : 前年並み

制 御 測 定 器 新事業他

(億円)



制御地域別 受注・売上高

◆受注は、インド、北米、中東・アフリカが好調

◆受注：▲14億円、▲0.6%（除・為替影響） 売上：+371億円、+19.2%（除・為替影響）

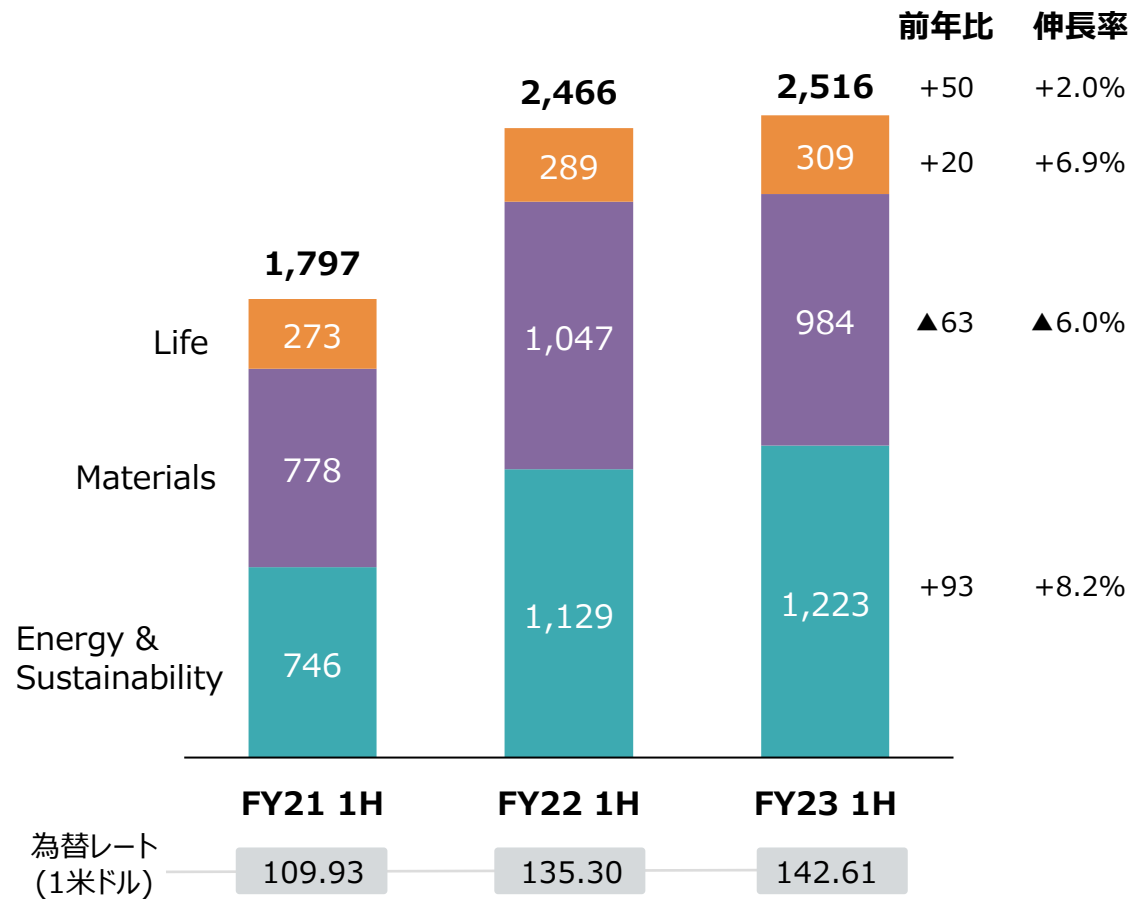
（億円）

受注高	FY22 1H	FY23 1H	前年同期比 (B-A)
日本	652	611	▲40
アジア	906	914	+8
（東南アジア・ 極東）	(372)	(402)	(+30)
（中国）	(420)	(355)	(▲66)
（インド）	(114)	(158)	(+43)
欧州・CIS	225	213	▲12
中東・アフリカ	387	435	+48
北米	190	236	+46
中南米	106	106	+0
海外小計	1,814	1,904	+90
合計	2,466	2,516	+50
為替レート 1米ドル=	135.30円	142.61円	+7.31円

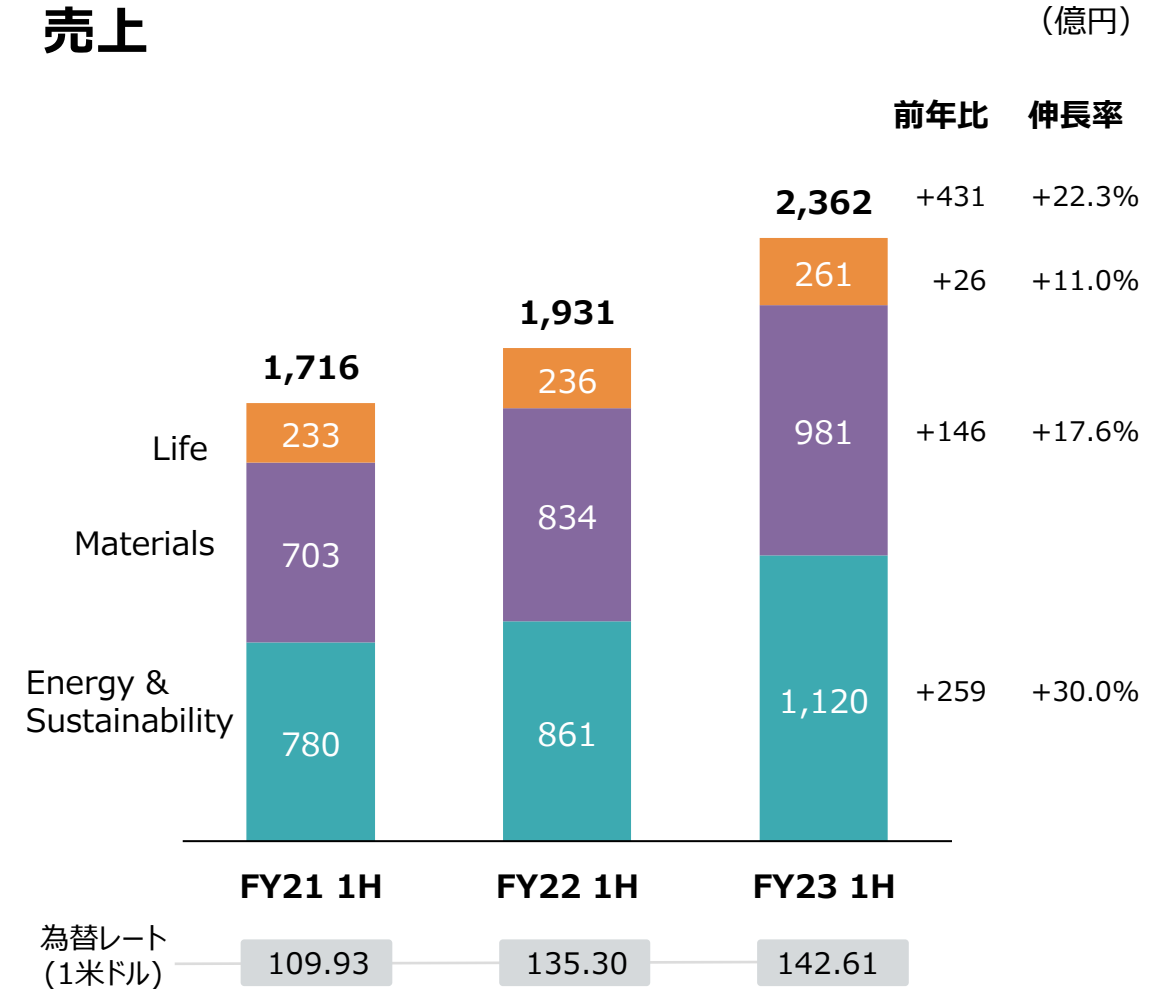
売上高	FY22 1H	FY23 1H	前年同期比 (B-A)
日本	518	579	+61
アジア	703	833	+131
（東南アジア・ 極東）	(305)	(346)	(+41)
（中国）	(318)	(372)	(+54)
（インド）	(80)	(115)	(+36)
欧州・CIS	213	242	+29
中東・アフリカ	252	362	+110
北米	184	247	+63
中南米	61	99	+38
海外小計	1,413	1,783	+370
合計	1,931	2,362	+431
為替レート 1米ドル=	135.30円	142.61円	+7.31円

制御サブセグメント別 受注・売上高

受注

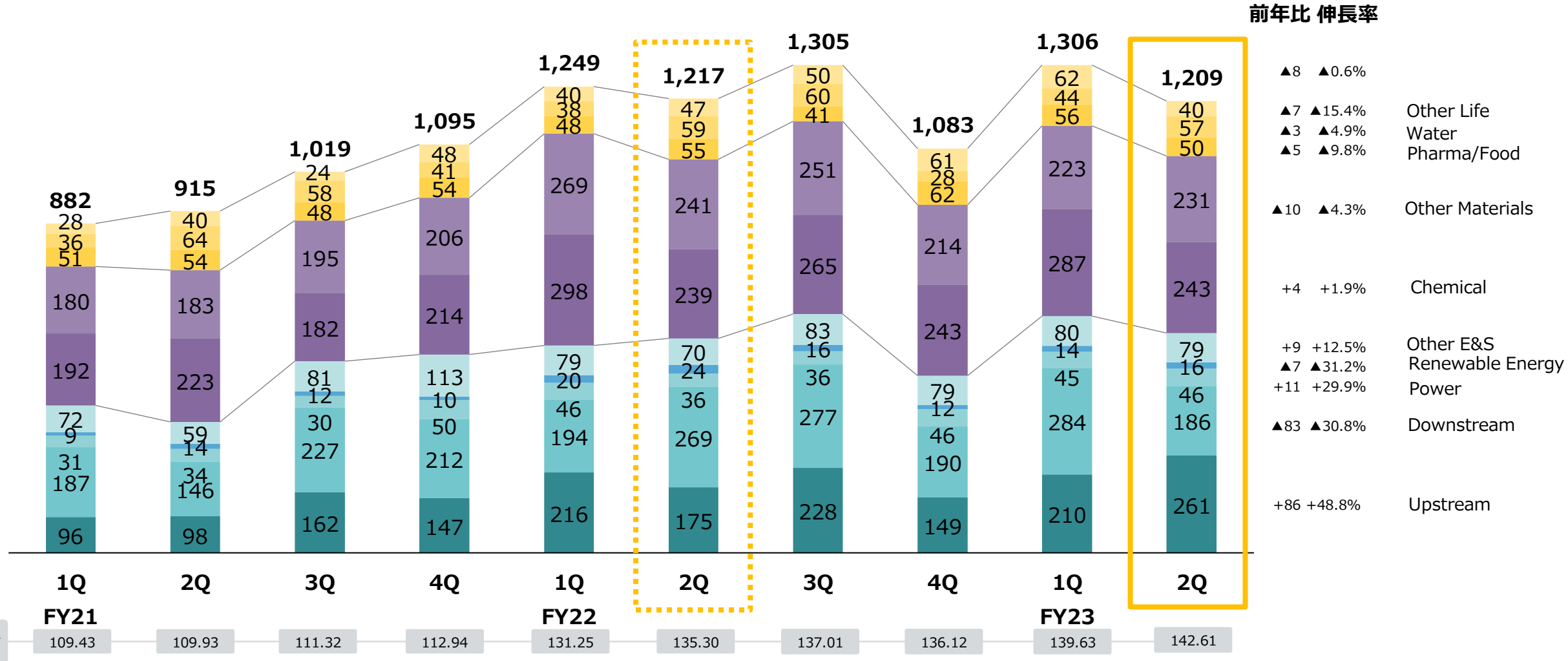


売上

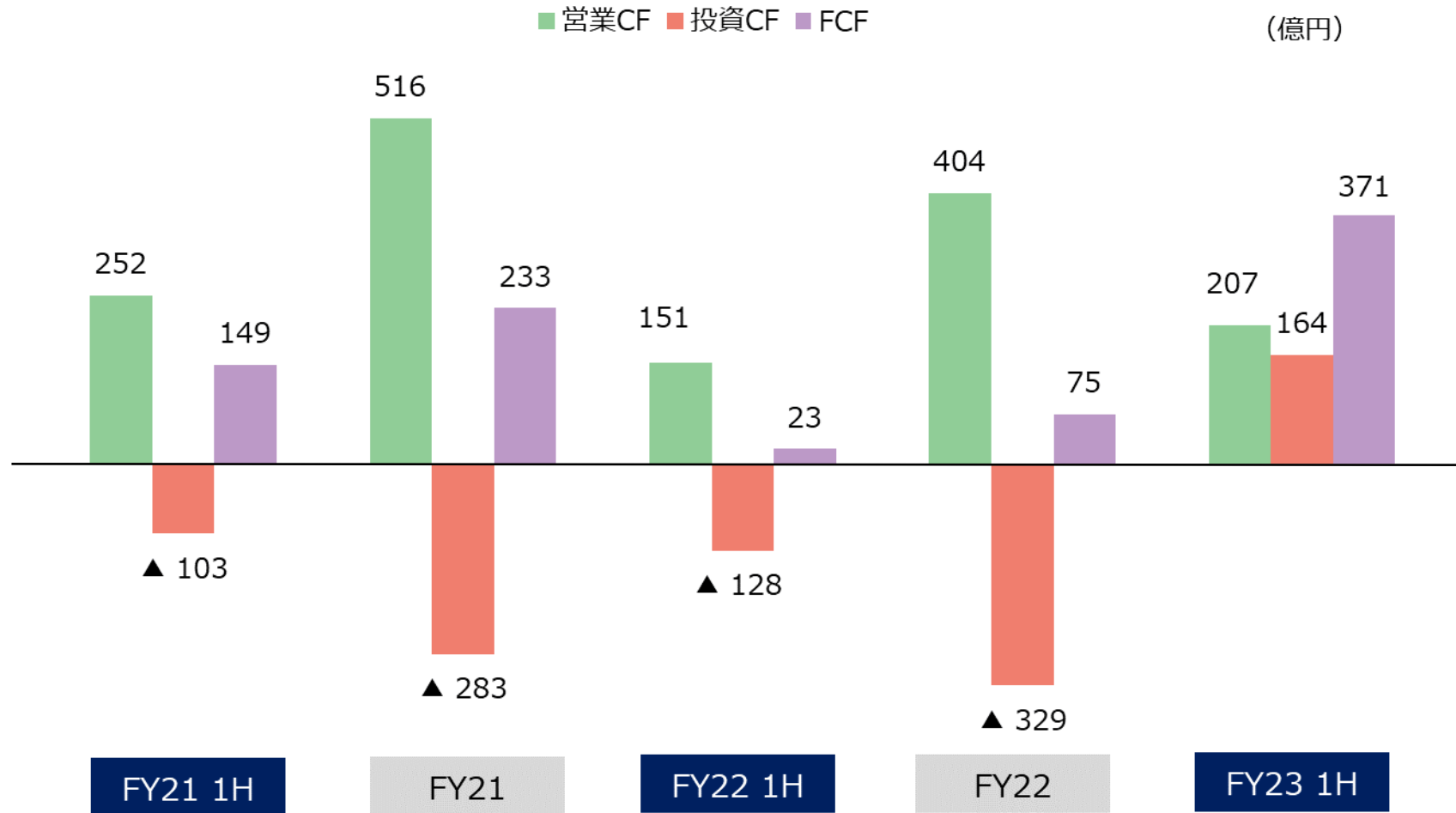


制御業種別 受注

(億円)



キャッシュ・フロー



FY23業績予想（修正あり）

- ◆為替レートの見直し（1USD= 130円 → 140円）
- ◆生産部品およびプロジェクト調達品の調達環境の改善などを踏まえ、上方修正

	FY22(A)	FY23予想 5/9(B)	FY23予想 11/7(C)	前回予想比 (C-B)	前年比 (C-A)	伸長率 (C/A-1)	(億円)
受注高	5,184	4,900	5,170	+270	▲14	▲0.3%	
売上高	4,565	4,700	5,120	+420	+555	+12.2%	
営業利益	444	480	630	+150	+186	+41.9%	
ROS(%)	9.7	10.2	12.3	+2.1pt	+2.6pt	—	
経常利益	486	490	640	+150	+154	+31.7%	
税引前利益	498	655	745	+90	+247	+49.6%	
法人税等	109	215	265	+50	+156	+143.6%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	389	440	480	+40	+91	+23.3%	
EPS(円)	145.81	164.84	182.41 [※]	+17.57	+36.60	—	
為替レート	1米ドル=	136.12円	140.00円	+10.00円	+3.88円	—	

■変動要因

- インフレによる採算性悪化、投資意欲減退
- 中国経済の後退
- 中東情勢の悪化

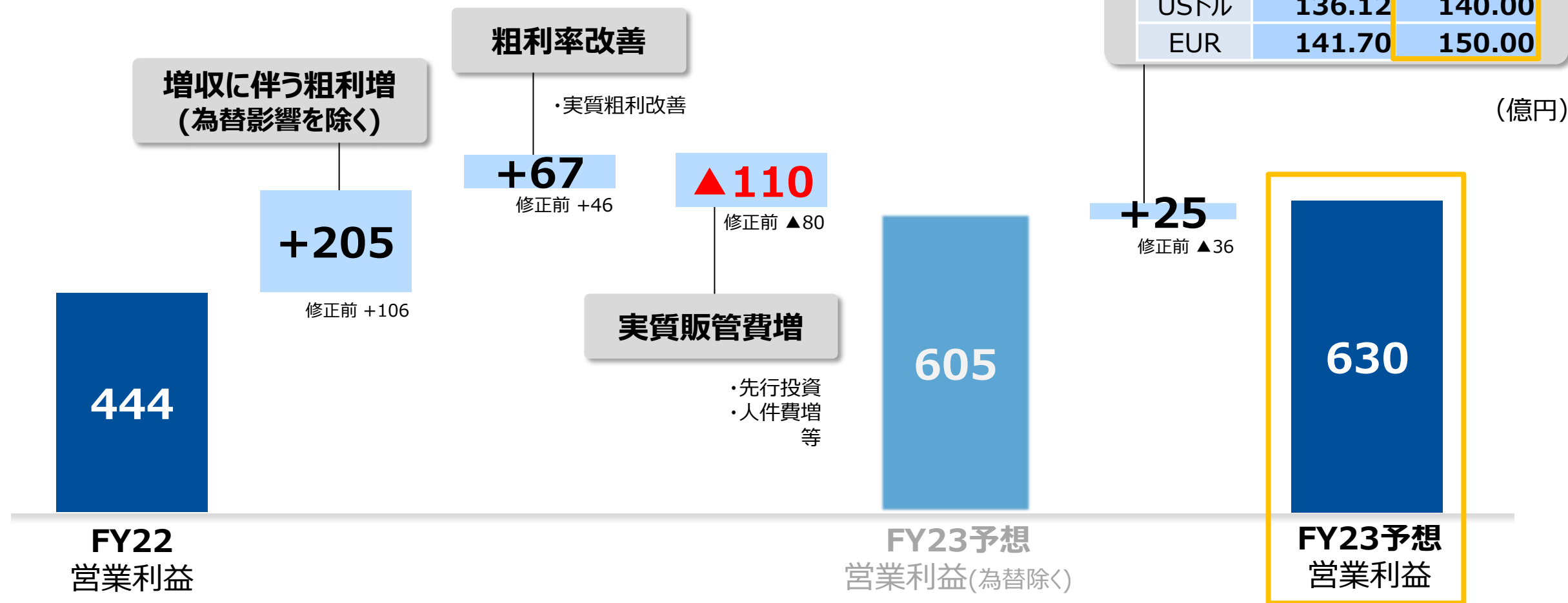
※ FY23予想における「EPS(円)」については、下期に取得する可能性がある自己株式の影響を考慮していません。
したがって、今後の自己株式取得の状況により、変動する可能性があります。

営業利益分析 予想（修正あり）

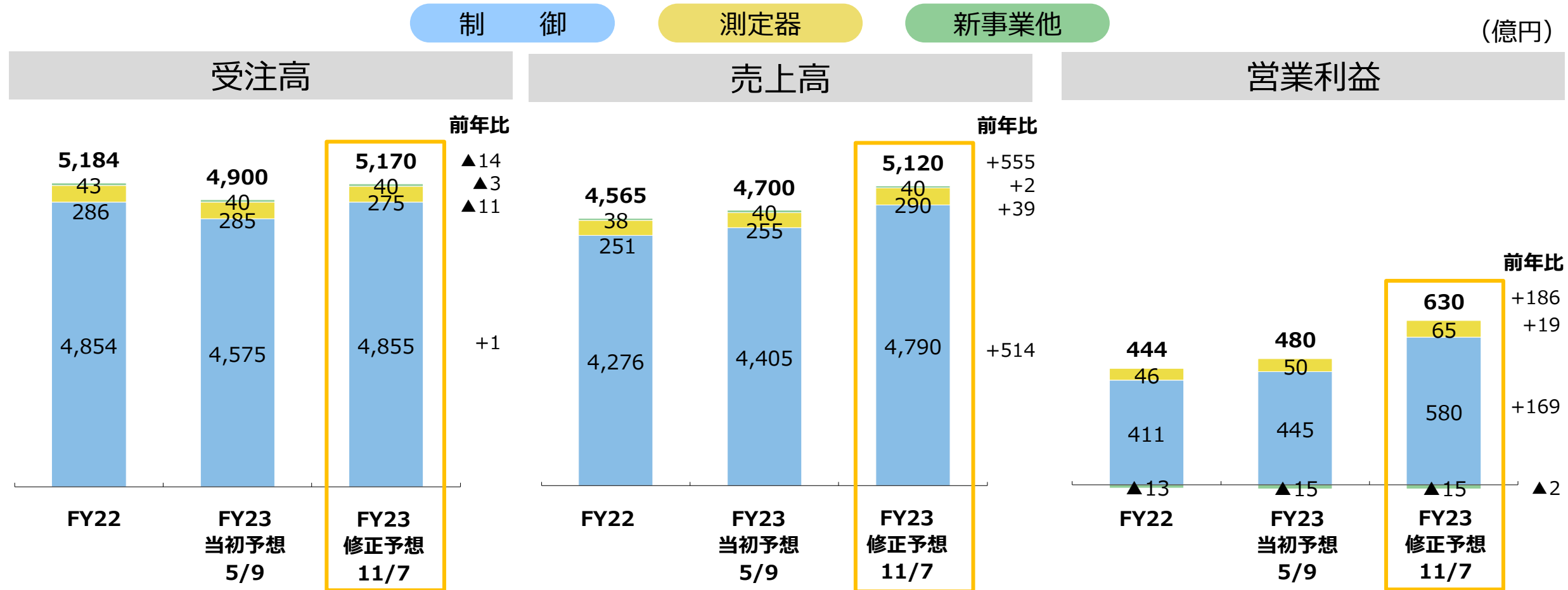
- ◆ 為替レートの見直し（1USD= 130円 → 140円）
- ◆ 生産部品およびプロジェクト調達品の調達環境の改善などを踏まえ、上方修正

為替の影響 (円)

	FY22	FY23予想
USDドル	136.12	140.00
EUR	141.70	150.00



セグメント別 受注・売上・営業利益 予想（修正あり）



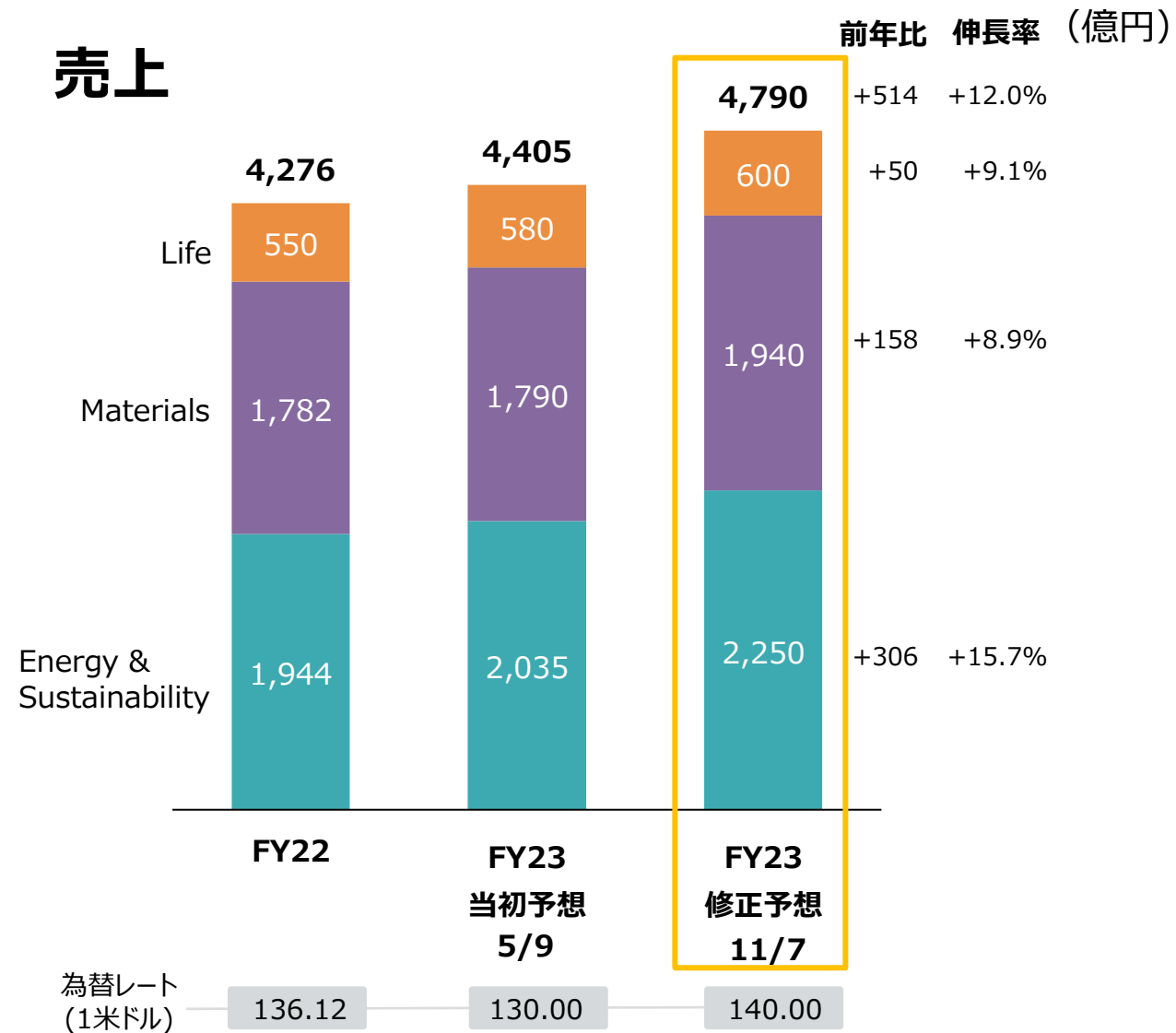
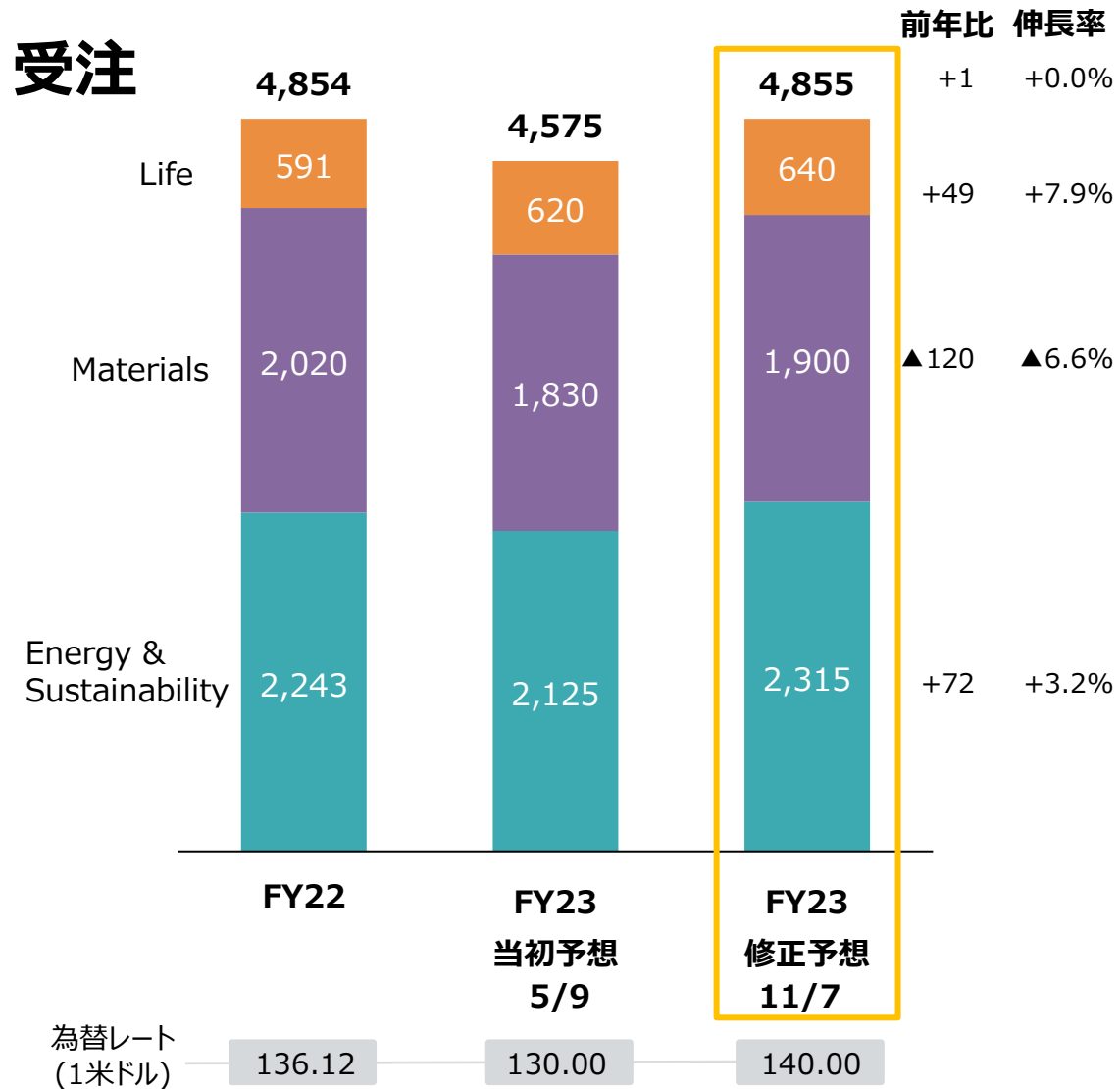
制御地域別 受注・売上高 予想（修正あり）

（億円）

受注高	FY22 (A)	FY23 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,340	1,250	▲90
アジア	1,680	1,685	+5
（東南アジア・ 極東）	(710)	(730)	(+20)
（中国）	(761)	(735)	(▲26)
（インド）	(209)	(220)	(+11)
欧州・CIS	464	460	▲4
中東・アフリカ	714	760	+46
北米	473	520	+47
中南米	183	180	▲3
海外小計	3,514	3,605	+91
合計	4,854	4,855	+1
為替レート 1米ドル=	136.12円	140.00円	+3.88円

売上高	FY22 (A)	FY23 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,160	1,245	+85
アジア	1,538	1,670	+132
（東南アジア・ 極東）	(685)	(710)	(+25)
（中国）	(668)	(740)	(+72)
（インド）	(185)	(220)	(+35)
欧州・CIS	424	465	+41
中東・アフリカ	599	730	+131
北米	407	495	+88
中南米	148	185	+37
海外小計	3,116	3,545	+429
合計	4,276	4,790	+514
為替レート 1米ドル=	136.12円	140.00円	+3.88円

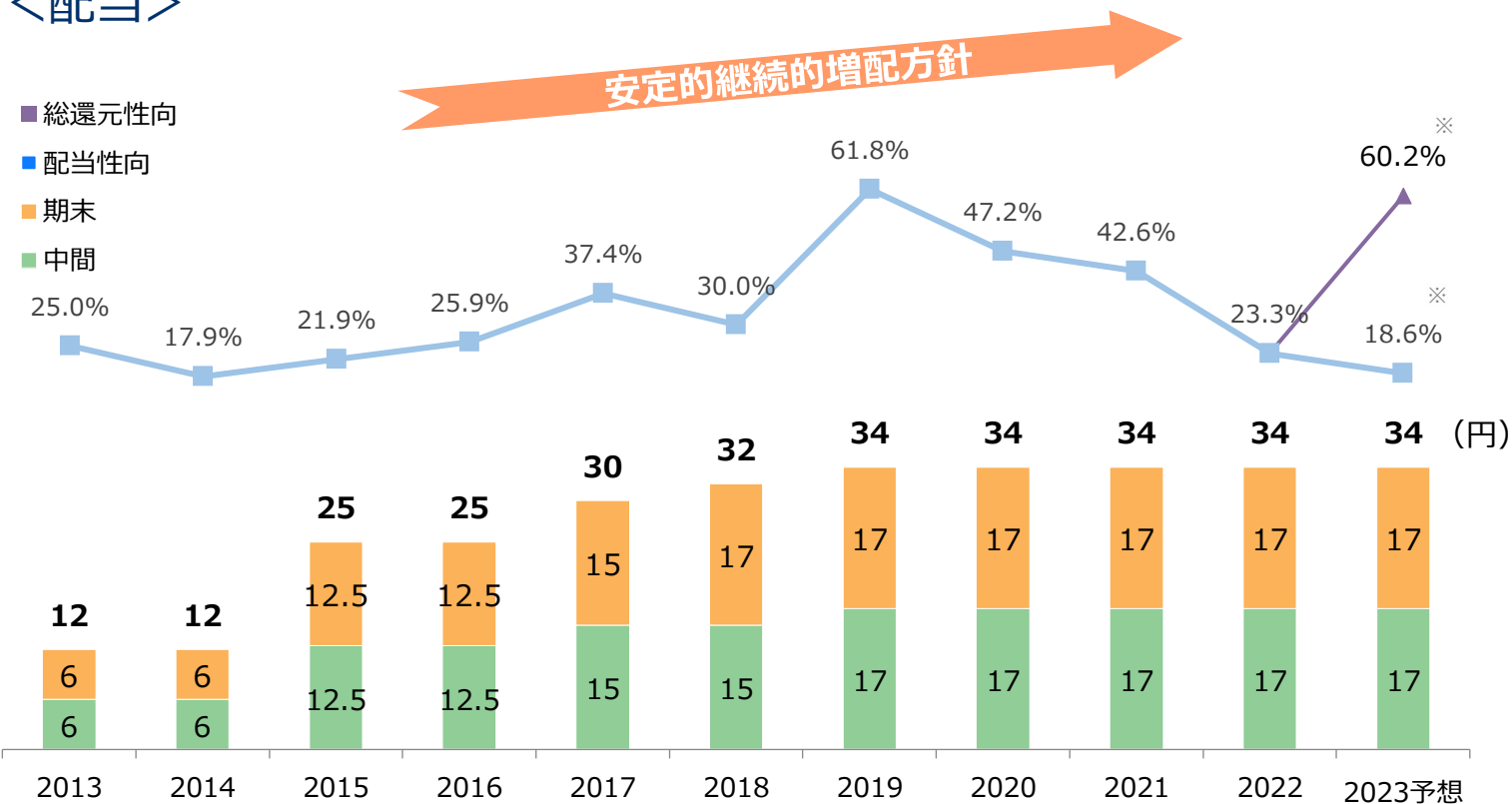
制御サブセグメント別 受注・売上高 予想（修正あり）



株主還元

◆ FY23中間配当金は17円を決議

<配当>



※ グラフの「総還元性向」および「配当性向」については、下期に取得する可能性がある自己株式の影響を考慮していません。したがって、今後の自己株式取得の状況により、変動する可能性があります。

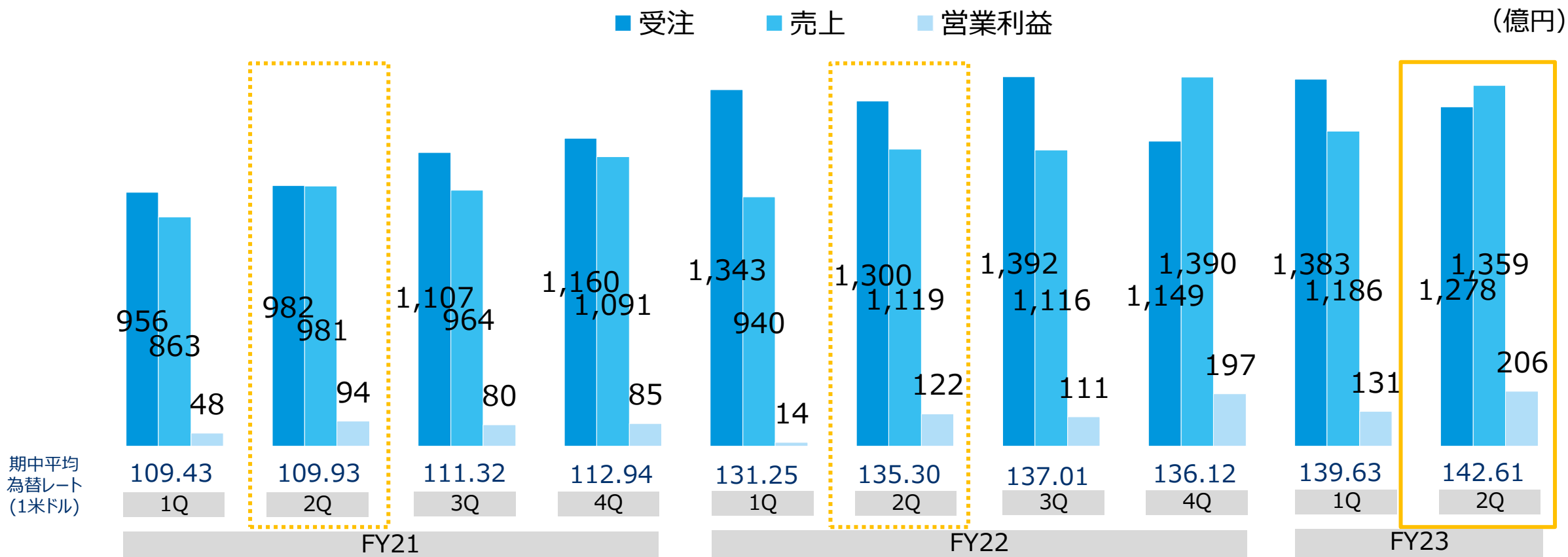
<自己株式の取得状況>

2023年9月30日現在
 取得した株式の総数 : 5,439,300株
 株式の取得価額の総額 : 143億円
 (上限200億円 進捗率71.7%)

決算補足資料

- ・四半期別実績
- ・営業外・特別損益
- ・セグメント別受注残推移
- ・制御サブセグメント別受注残推移
- ・制御ビジネス金額別受注推移
- ・研究開発費・減価償却費・設備投資
- ・貸借対照表
- ・株価の状況

補足：四半期別実績



補足：営業外・特別損益

(億円)

	FY22_1H	FY23_1H
営業利益	135	337
営業外収益	40	50
営業外費用	17	16
経常利益	159	371
特別利益	8	165
特別損失	1	61
税引前利益	166	475
法人税等	74	125
親会社株主に帰属する 四半期純利益	92	351
(税負担率)	35.6%	21.6%

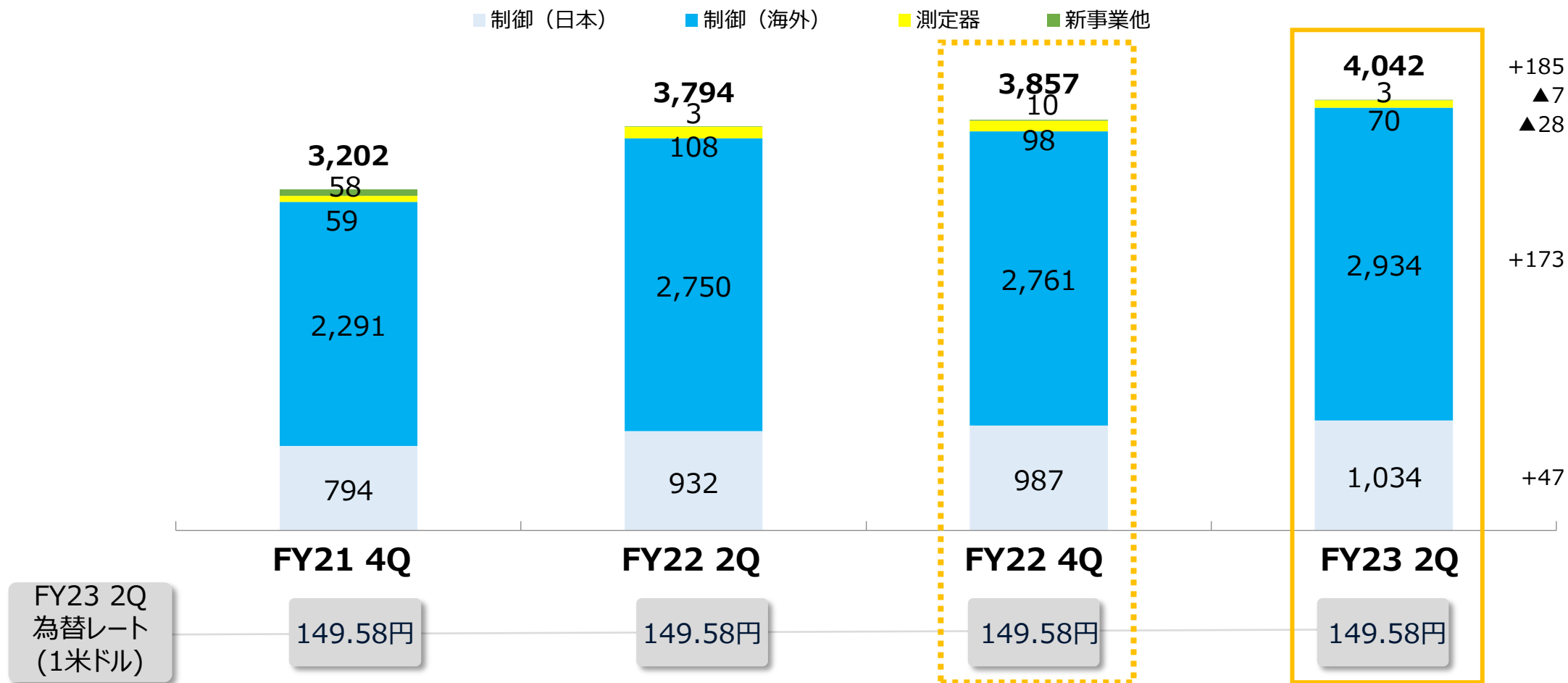
【特別利益】
FY23 1Q：投資有価証券売却益 165

【特別損失】
FY23 2Q：減損損失 56
(PXiSE Energy Solutions, LLC)

補足：セグメント別 受注残推移

* FY23 2Q期末為替レート換算

(億円)

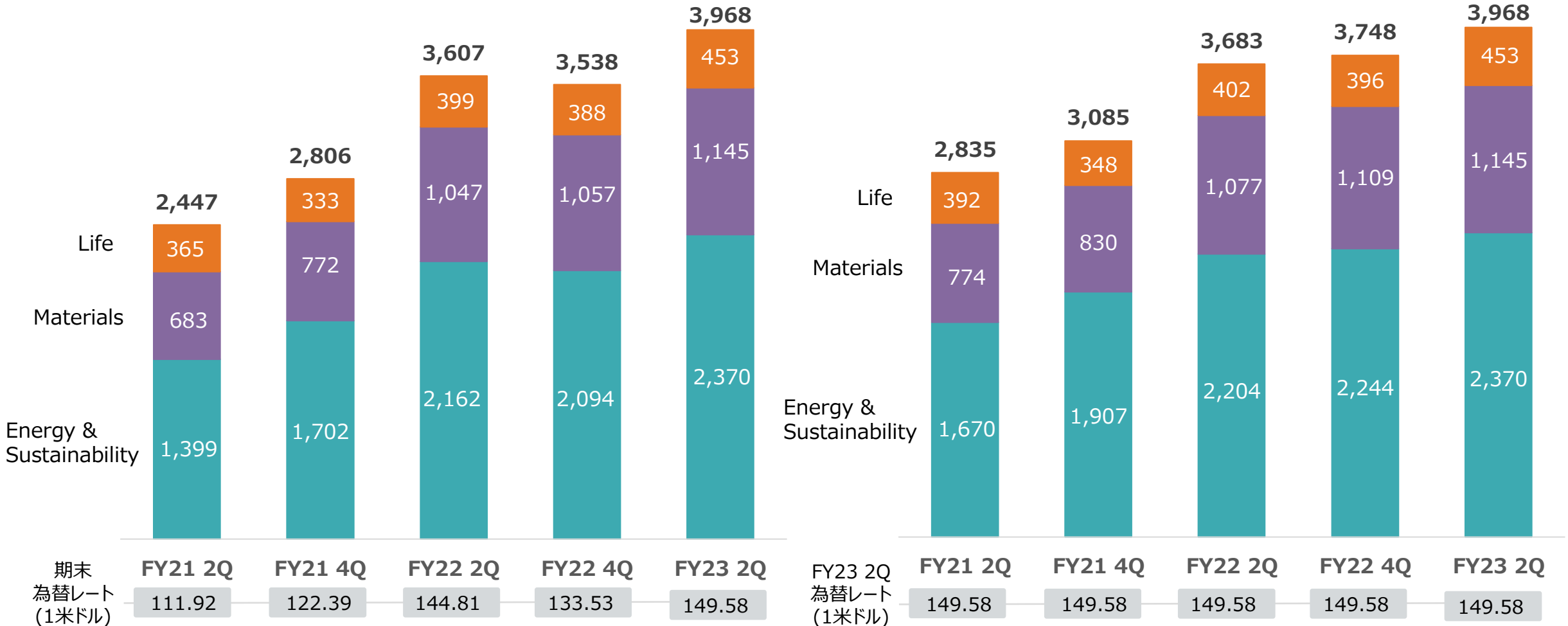


補足：制御サブセグメント別 受注残推移

(億円)

期末為替レート

FY23 2Q為替レート



補足：制御ビジネス金額別 受注推移

約 3 億円*以上の大口PJ T比率は10~15%程度のみ

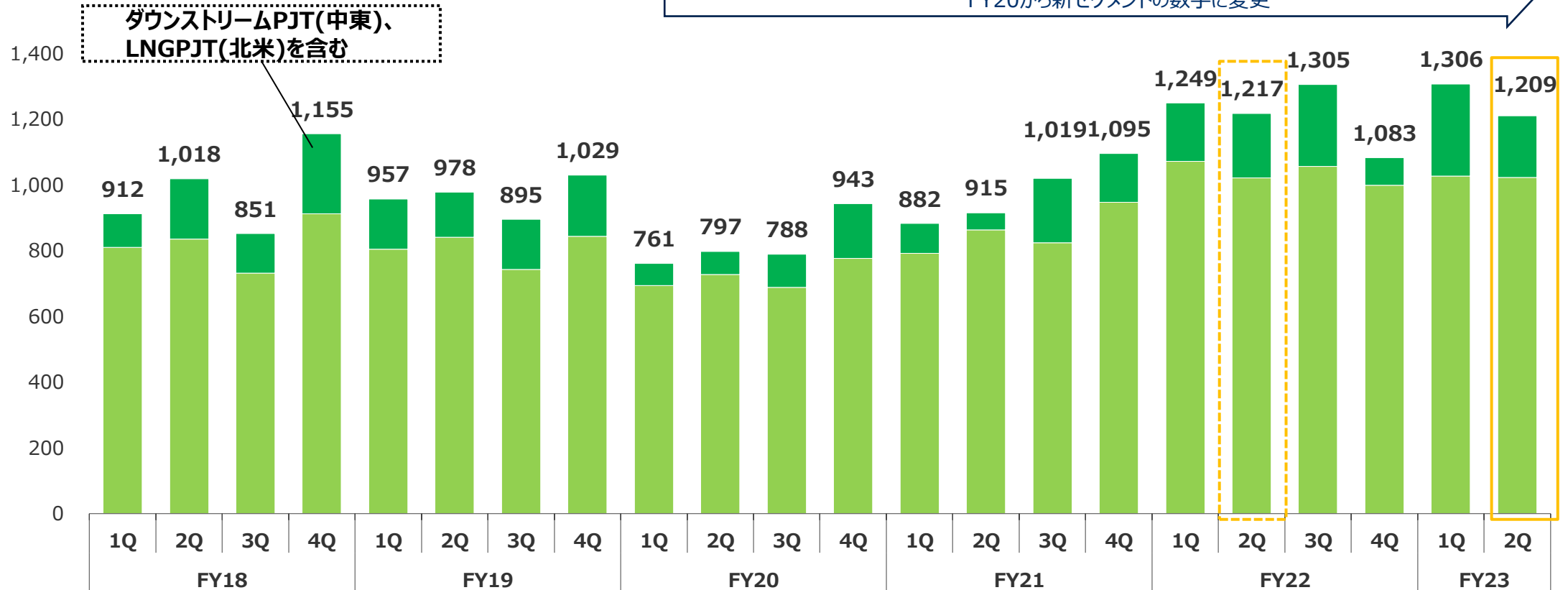
* 3MUS\$

(億円)

3億円未満(小口PJ T)
主にMROやSystem upgradeなどのOPEX

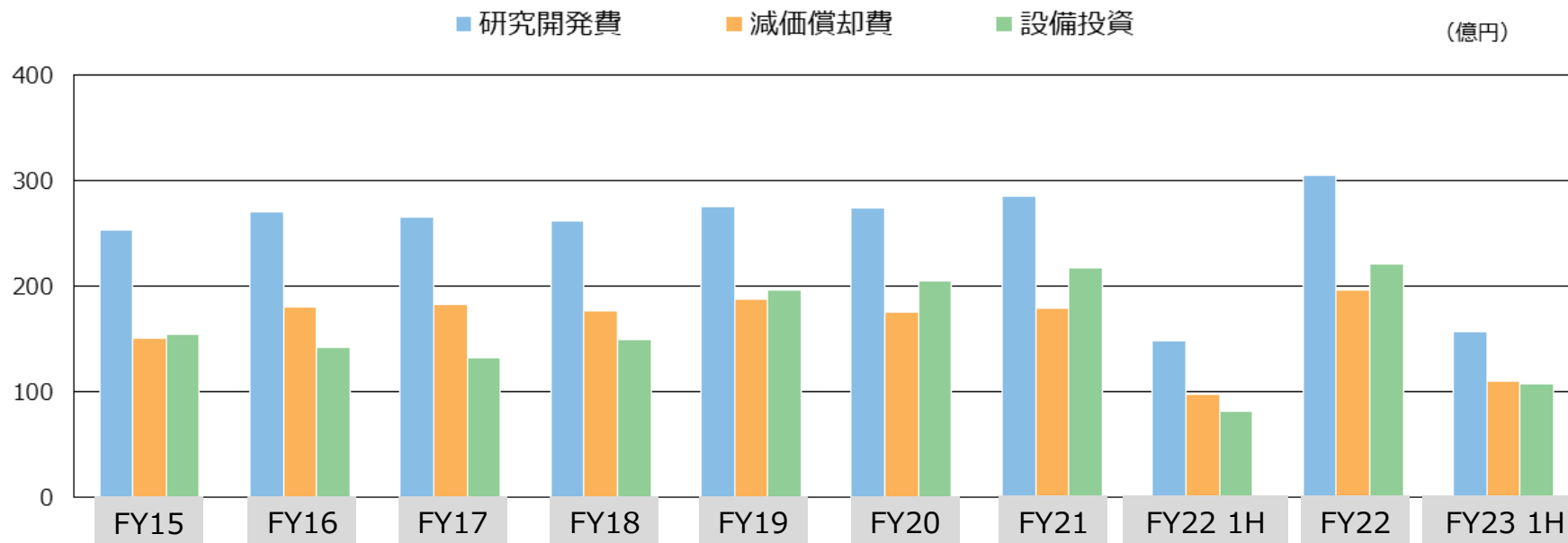
3億円以上(大口PJ T)
主にFEEDやEngineeringなどのCAPEX

FY20から新セグメントの数字に変更



US\$	FY18				FY19				FY20				FY21				FY22				FY23	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
US\$	109.53	110.72	111.34	111.07	109.67	108.67	108.90	108.96	107.52	106.39	105.63	106.01	109.43	109.93	111.32	112.94	131.25	135.30	137.01	136.12	139.63	142.61

補足：研究開発費・減価償却費・設備投資

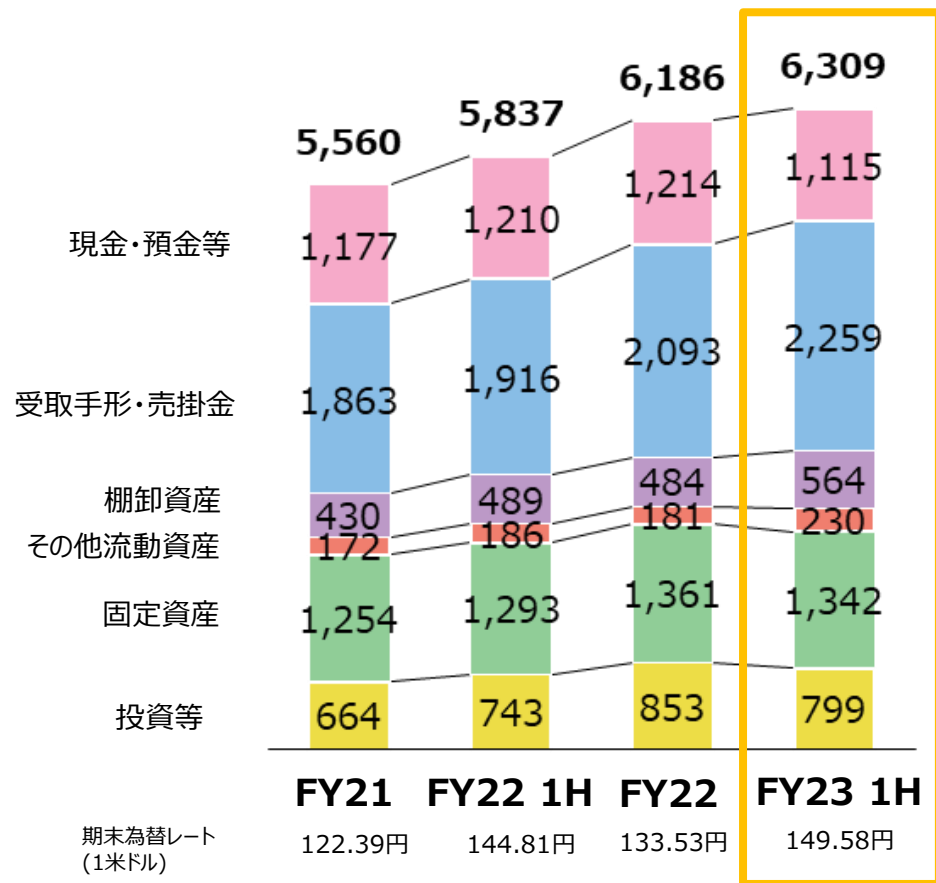


	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22 1H	FY22	FY23 1H
研究開発費 (対売上高比率)	253 6.1%	271 6.9%	266 6.5%	262 6.5%	276 6.8%	275 7.3%	285 7.3%	148 7.2%	305 6.7%	157 6.2%
減価償却費 (対売上高比率)	151 3.6%	180 4.6%	183 4.5%	177 4.4%	188 4.6%	176 4.7%	179 4.6%	97 4.7%	197 4.3%	111 4.3%
設備投資 (対売上高比率)	154 3.7%	142 3.6%	132 3.2%	150 3.7%	196* 4.9%	206 5.5%	217 5.6%	82 4.0%	222 4.9%	107 4.2%

*FY19よりIFRS第16号（リース）を適用

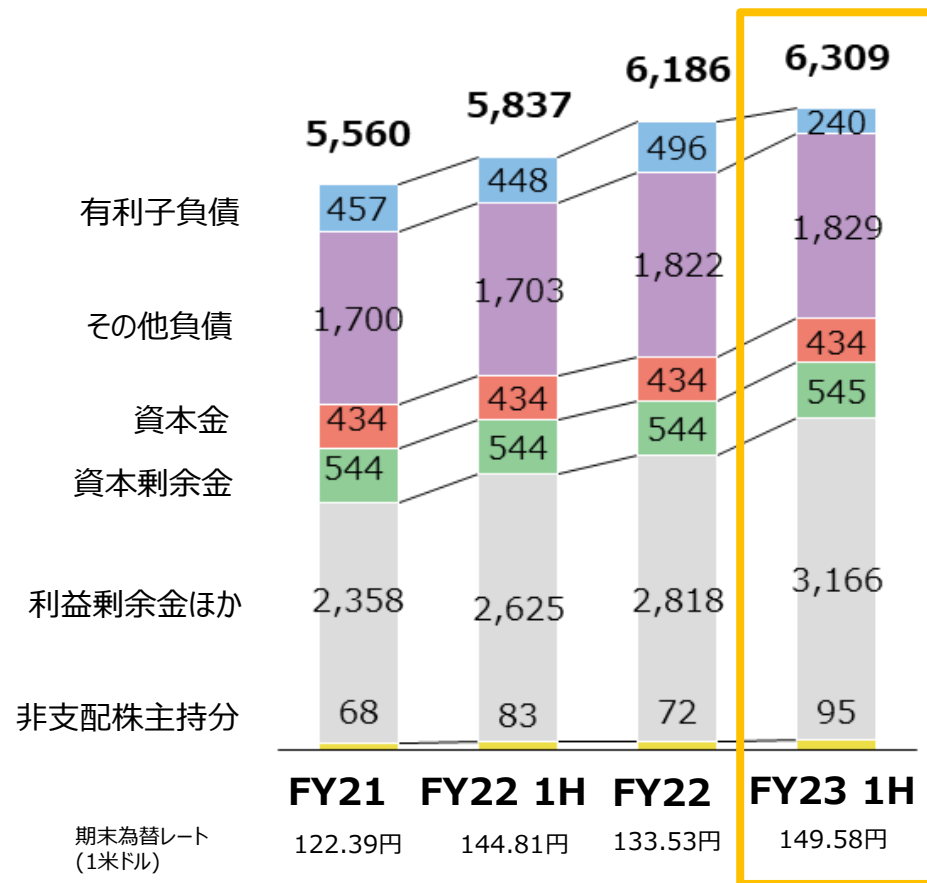
補足：貸借対照表

資産

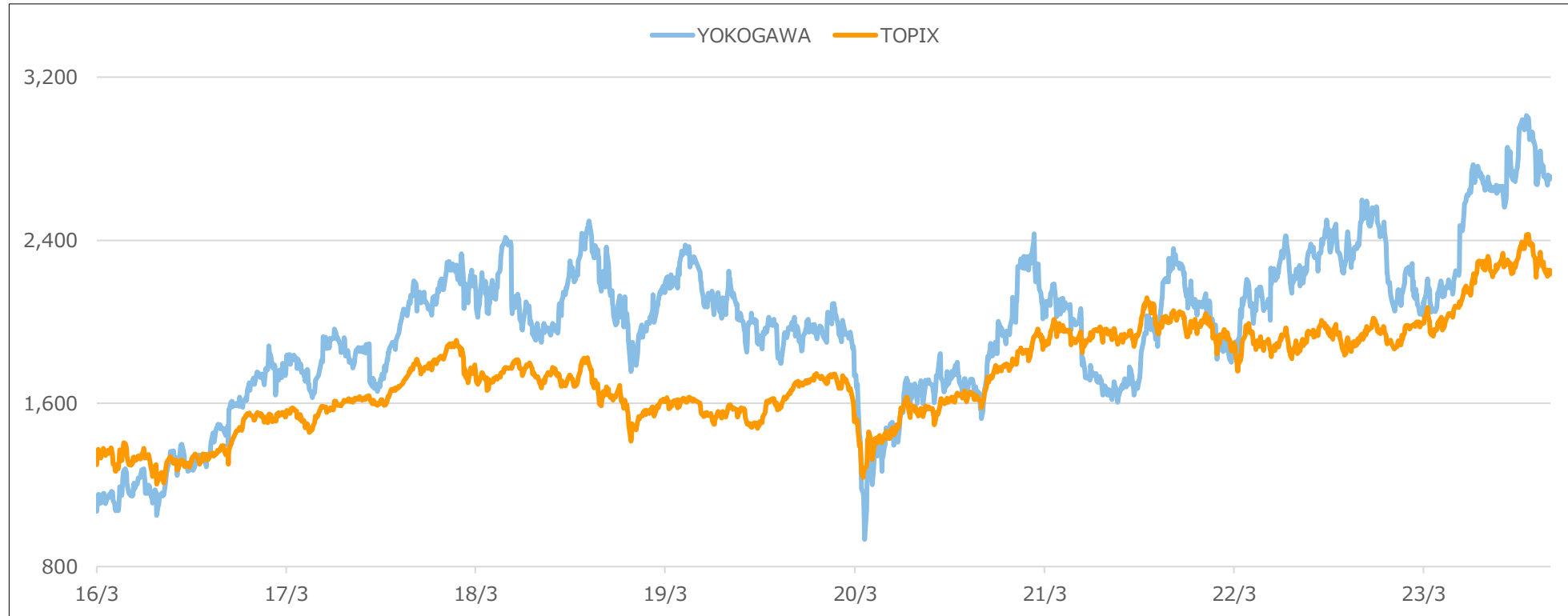


負債・資本

(億円)



補足：株価の状況



(¥)

	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	23/6	23/9	23/10/31
YOKOGAWA	1,163	1,752	2,198	2,291	1,303	2,038	2,099	2,150	2,651	2,889	2,713
TOPIX	1,347	1,512	1,716	1,592	1,403	1,954	1,946	2,004	2,289	2,323	2,254

2024年3月期 決算
現状認識と今後の見通し
「Accelerate Growth 2023」
進捗と達成に向けて

代表取締役社長

奈良 寿

2023年11月7日

現状認識

中長期でのお客様投資意欲は健在 中国は弱含みの基調継続/エネルギー関連の需要は堅調

地域 **中東:**投資意欲は継続。情勢緊迫化の影響は要注視 **インド:**リファイナリなどの投資案件は活発だが、競争厳しい
北米:インフレ影響懸念 **中国:**需要の後退・調整が継続。回復の兆しまだ見えず **日本:**停滞と緩やかな回復のまだら感

業種 **Upstream:**安定したオイル・ガスの価格と需要が投資を牽引 **Renewable:**水素・アンモニア案件活発
Downstream:大型案件は夙のタイミング、DXなど生産性向上案件は活況 **Chemical:** 電子部品、EV関連素材は回復していない
Pharma, Food, Water: 生産性、安全性、品質向上などプロセス高度化への投資意欲は堅調



海外売上高比率	
FY22_1H	73.0%
FY23_1H	75.6%

中期経営計画 Accelerate Growth 2023 レビュー

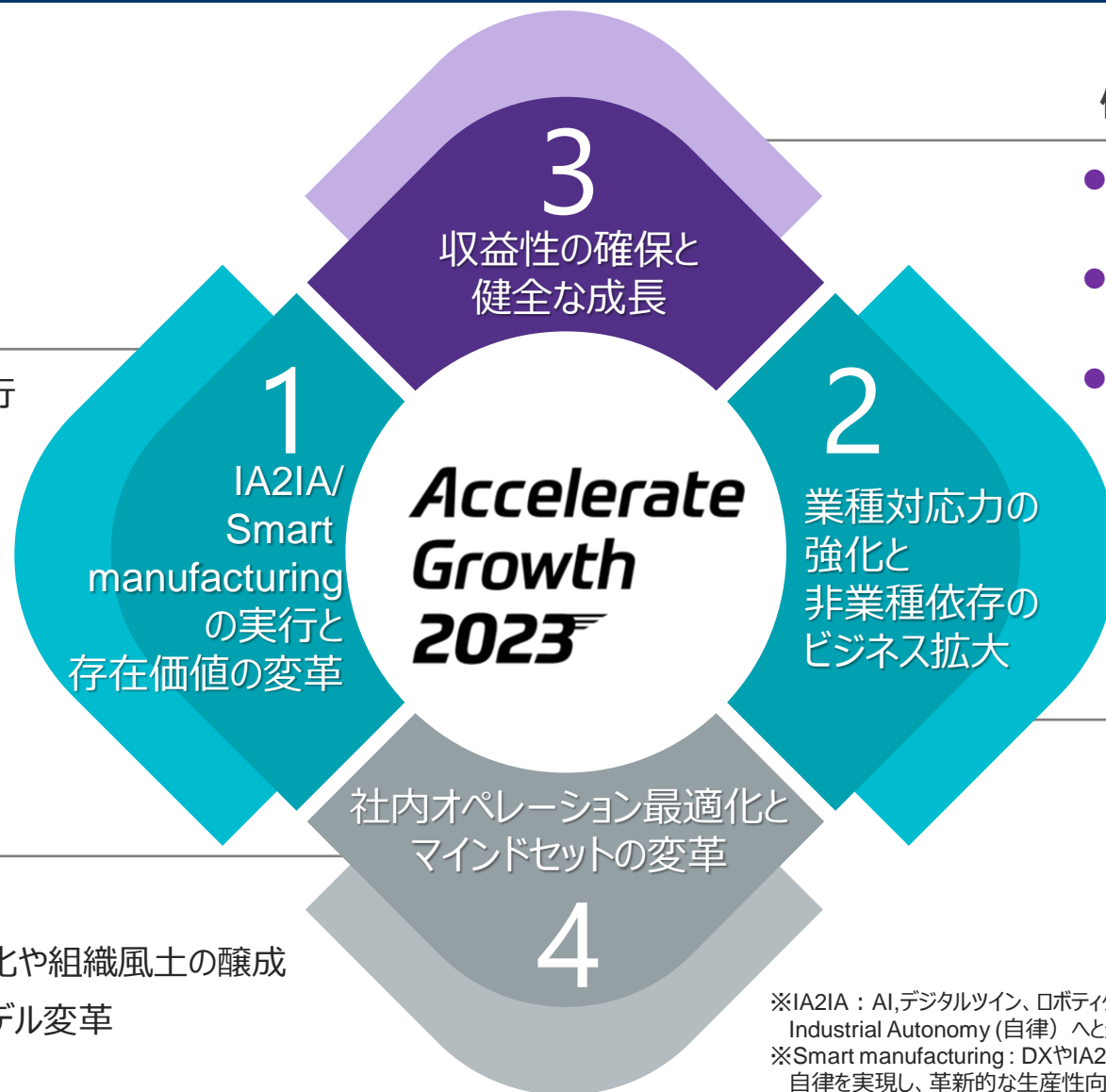
Accelerate Growth 2023 4つの基本戦略

提供価値の拡張

- IA2IA*の構想の実行フェーズへの移行
- Smart manufacturing*によるソリューションの提供範囲の拡大

社内基盤の強化

- 戦略立案機能の強化
- 挑戦を奨励する企業文化や組織風土の醸成
- Internal DXとビジネスモデル変革



価値提供における収益性と成長

- 大規模プロジェクトのナレッジ集約と効率化
- 高い価値を生む製品群へのリソース集中
- ソフトウェアやエンジニアリングの領域での利益確保

提供価値の拡張

- 総合エネルギー企業にシフトするお客様への新たな価値の提供
- 他業種、非業種依存のビジネスの拡大

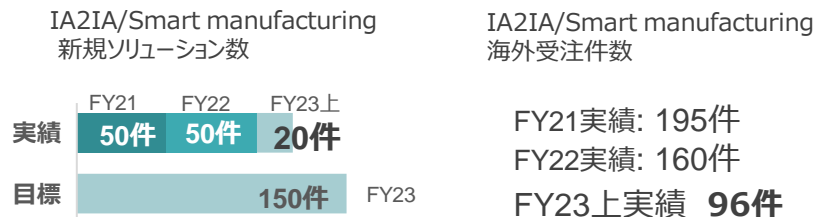
※IA2IA：AI,デジタルツイン、ロボティクスなどのDX関連技術を取り込み、Industrial Automation(自動)から Industrial Autonomy (自律) へと進化させる活動。

※Smart manufacturing：DXやIA2IAによって生産現場、エンタープライズ、サプライチェーンにおける自律を実現し、革新的な生産性向上を達成する活動。



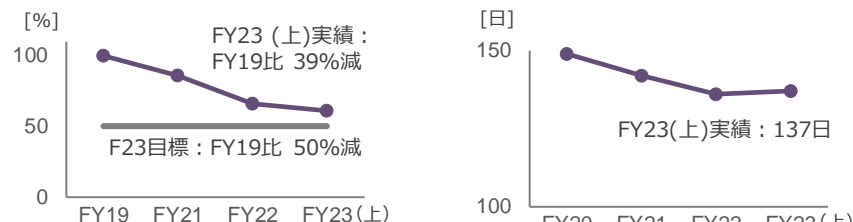
1 IA2IA/Smart manufacturing の実行と存在価値の変革

- IA2IA/Smart manufacturing 新規ソリューションのリリースや事業展開の取組は順調に進捗している



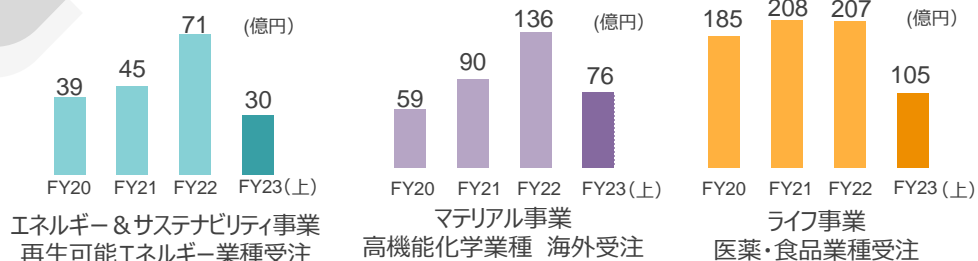
3 収益性の確保と健全な成長

- グローバルの基盤整備である4つの変革プロジェクト*1を着実に実行しながら、各種施策の取り組みも着実に進捗
- CCCは横ばい



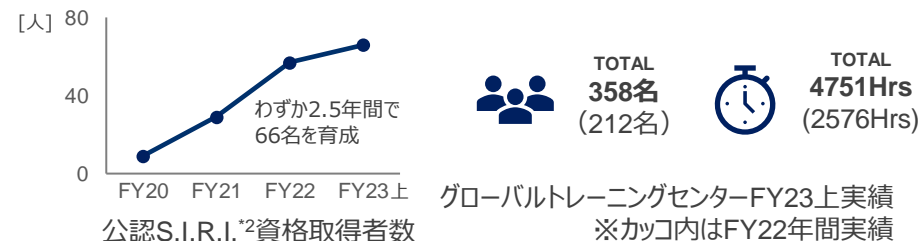
2 業種対応力の強化と非業種依存のビジネス拡大

- 再エネは想定より伸びず 高機能化学とライフは概ね前年並み



4 社内オペレーション最適化とマインドセットの変革

- 人材のスキル転換、マインドセット変革の重要性の認識共有が進み、各取り組みが順調に前進している
- グローバルエンゲージメントサーベイを3Qに実施



再エネビジネスは想定より伸びず 見えてきた課題に対応し、力強い成長を目指す

外部環境

- エネルギー業種全般において構造的に投資が活況（エナジーセキュリティ、エナジートランジション需要）
- 再エネ市場は成長しているが、成長速度は一部で遅れもでている

課題認識 と対応

- 買収会社とのシナジー発揮の遅れ
 - 販売戦略構築、製品・ソリューション標準化の加速
 - 販売体制強化（人員の拡充・育成、Subject Matter Expert の強化）
- ソリューションポートフォリオの強化
 - 提携、買収によるポートフォリオ拡充

成果

- 買収会社とのシナジーを活かした事例も出てきている。
 - ✓ 統合情報サーバ（Collaborative Information Server : CI Server）との連携
 - PXiSE オーストラリア商用グリーン水素プロジェクト「ユリ」*1 エネルギー管理システム受注
 - Dublix FuzEvent*2 と CI Server連携プロジェクトを完遂*3（クラコフごみ焼却発電所 ポーランド）

*1 2022年11月受注 オーストラリア商用グリーン水素プロジェクトの 統合制御システムサプライヤーに選定 | YOKOGAWA

2023年 9月受注 オーストラリア商用グリーン水素プロジェクト「ユリ」のエネルギー管理システムを受注 | YOKOGAWA

*2 FuzEvent :Dublixのプロセスノウハウを生かした独自の高度な制御技術に基づく高性能の燃焼制御ソリューション

*3 2023年10月 ポーランド最大のごみ焼却発電所で効率改善によりごみ焼却量を最大で年間5,500トン相当 増加 | YOKOGAWA



グリーン水素プロジェクト「ユリ」の完成予想図
手前がヤラ・ヒルバラ・ファーティライザー社の既存アンモニアプラント
奥が太陽光発電設備（提供：エンジー社）

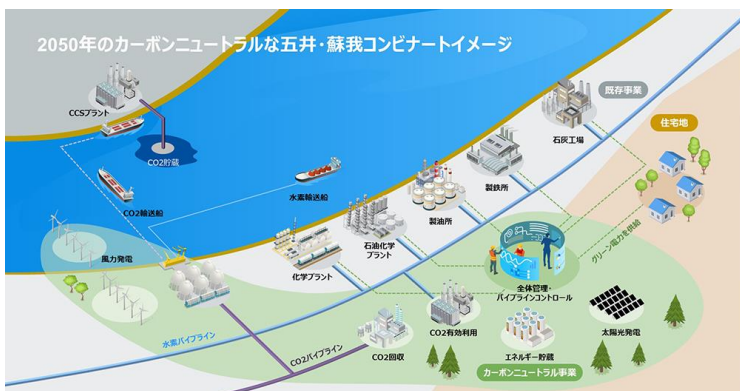
高度な産業間連携で資源有効利用・エネルギー削減を目指す System of Systemsにおける全体最適化で、サステナブルな社会実現に貢献する

欧州最大の港 ロッテルダム港の脱炭素に向け ロッテルダム港湾公社と共同で実現可能性調査を開始

- コンビナートの製造事業者間でエネルギー（電気、蒸気、熱）、水、産業ガス（水素、二酸化炭素等）の需給最適化と有効利用により、コストとCO₂排出削減を目指す
- YOKOGAWAは事業者間情報の機密性を担保しながら、生産計画を最適化するシミュレーション技術や地域EMSによる高度な連携を支援する



ロッテルダム港のコンビナート



千葉県市原市五井地区、千葉市曾我地区における 産業間連携によるカーボンニュートラル実現可能性調査

- 千葉県の五井・曾我地区に立地する異業種企業11社と横河電機が連携（今年度、新たに2社参加）
- 産業間連携による、エネルギー管理システムの導入、CO₂回収と有効活用、既存プロセスからの水素等の副生ガスの有効活用を検討
- 2050年、カーボンニュートラルコンビナートに必要な施策等を検討中
- 経産省 カーボンリサイクルロードマップ検討会資料でも紹介 [20230623_01.pdf \(meti.go.jp\)](#)

AG2023達成に向けて

大きく変化する外部環境の中、**スピード感**をもって
Accelerate Growth 2023を実行し、**目標を達成する**

- ✓ YOKOGAWAの強みを生かし、**さらなる成長発展**に向け変革
- ✓ 提供価値の拡張と生産性向上により、**高い収益性**を実現
- ✓ 長期目線で**非エネルギー業種ビジネス拡大**、持続可能な社会の実現に貢献

Accelerate Growth 2023

測る力とつなぐ力で、 地球の未来に責任を果たす。

**Utilizing our ability to measure and connect,
we fulfill our responsibilities for the future
of our planet.**

「測る」は、YOKOGAWAの原点であり起点です。ものごとを測り、今ある状態をとらえ、見通し、そこから導き出される情報に価値を見出してきました。また「つなぐ」は、YOKOGAWAが価値ある情報を結び付けるだけではなく、さまざまな産業におけるお客様との信頼関係を築き、企業と企業、産業と産業の結束点となって、さらに価値を共鳴させていくことを意味しています。

「測る力とつなぐ力」はYOKOGAWAが決して失うことのないコアコンピタンスです。その力を今日の社会課題の解決に生かし、人と地球が共生する未来をかなえたい、そうした思いを「地球の未来に責任を果たす」というコミットメントに込めました。

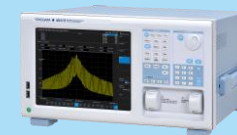
参考資料

- ・トピックス
- ・採用されているESG関連インデックスなど

ご参考：トピックス (7/1～9/30)

7月

【横河計測】可視・近赤外用高性能光スペクトラムアナライザ「AQ6373E」および「AQ6374E」発売



光スペクトラムアナライザ「AQ6373E」

8月

【横河計測】高分解能オシロスコープ「DLM5000HD」シリーズを開発・発売
～自動車向けをはじめとする次世代パワーエレクトロニクスの開発効率向上を支援～

「Collaborative Information Server（統合情報サーバ）」を機能強化
YOKOGAWAレポート2023を発行 [Link](#) （英文版は10月27日に発行）

9月

【横河ソリューションサービス／ファイトケミカルプロダクツ】植物油製造過程で発生する未利用バイオマス資源の有効活用に向けた協業を開始
～省エネルギーかつ高収率の製造技術を確立し、循環型社会の実現へ～

オーストラリア商用グリーン水素プロジェクト「ユリ」のエネルギー管理システムを受注
～プラント制御とエネルギー管理システムを融合～

プラントデータ変換プラットフォームOpreX Data Model Brokerを機能強化
～設計図面から情報を自動抽出、計器リストを自動作成～

【ロッテルダム港湾公社/横河電機】エネルギーや資源の有効利用に向けた産業間連携の調査を開始

※日付は発表月です

ご参考：YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

2023年10月現在

- DJSI-World Index
- DJSI-Asia Pacific Index
- FTSE4Good Index Series
- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCI ESG Ratings AAA (新)**
- MSCI ESG Leaders Indexes
- MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数
- MSCI 日本株 女性活躍指数
- ISS ESG - ESG コーポレートレーティング Prime
- Sustainalytics Top-Rated ESG Regional Performer
- CDP水セキュリティ Aリスト
- CDPサプライヤー・エンゲージメント・リーダー
- SNAMサステナビリティ・インデックス
- S&P/JPXカーボンエフィシエント指数
- Carbon Clean 200 (Clean200) リスト選定
- EcoVadis サステナビリティ調査 ゴールド
- Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数 (除くREIT)

Member of
Dow Jones Sustainability Indices
Powered by the S&P Global CSA



2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2023 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

ESGインデックス、社外からの評価の詳細につきましては、当社ウェブサイトをご参照ください。
<https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

横河電機株式会社

IR部

Email : Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com

TEL : 0422-52-6845

URL : <https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>

Co-innovating tomorrow™

